

第3 全道の水需要の見通し

1 全道の給水人口の予測

行政区域内人口については、国立社会保障・人口問題研究所の都道府県別の将来推計人口（平成30年推計）を引用しました。

水道普及率については、過去の実績に基づく時系列傾向分析による推計から、平成22年度（2010年度）の97.8%に対し、令和12年度（2030年度）（目標年度）は98.4%と算出しました。

給水人口については、行政区域内人口に水道普及率を乗じて算出しました。令和12年度（2030年度）の給水人口は472万人となり、平成22年度（2010年度）実績の538万人より約66万人（12%）減少すると予測されます。

【給水人口の予測値】

区 分	H22年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R12年度 (予測値)	増 減
行政区域内人口（人）	5,498,916	5,206,059	4,791,592	-707,324(-13%)
水道普及率（%）	97.8	98.2	98.4	+0.6
給水人口（人）	5,377,993	5,111,249	4,716,587	-661,406(-12%)

※ 小数点第2位以下を四捨五入しているため、行政区域内人口に水道普及率を乗じたものと給水人口が一致しない場合がある。

※ 北海道水道ビジョン策定時の予測値との相違は、使用した実績値が2年異なること（最新値がH20年度末とH22年度末）による。

2 給水量の予測

有収水量を生活用及び生活用以外の用途に区分し、過去の実績（10～20年間）に基づく時系列傾向分析によりそれぞれ推計するとともに、同様に過去の実績に基づき設定した有収率・負荷率で除することにより算出した結果、全道における令和12年度（2030年度）の一日平均給水量は147万 m^3 、一日最大給水量は185万 m^3 となり、平成22年度（2010年度）実績に比べ、それぞれ24万 m^3 （14%）、20万 m^3 （10%）減少すると予測されます。

【給水量の予測値】

区 分	H22年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R12年度 (予測値)	増 減
一日平均給水量(千 m^3 /日)	1,714	1,640	1,473	-241(-14%)
一日最大給水量(千 m^3 /日)	2,044	1,920	1,847	-197(-10%)